

【参考】全国大会の概要

(1) 第61回技能五輪全国大会

国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者の努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供することなどを通じて、広く国民一般に対して、技能の重要性や必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図ることを目的とする。

また、全国大会において、令和6年9月にフランス・リヨンで開催される第47回技能五輪国際大会で、実施が見込まれる競技職種に関連する一部の競技職種に係る選手の一次選考を行うこととする。

- ① 会 期 令和5年11月17日(金)～21日(火)
- ② 会 場 愛知県国際展示場 他12会場
- ③ 主 催 厚生労働省及び中央職業能力開発協会
- ④ 競技職種 41職種（兵庫県から8職種24名が参加）
- ⑤ 参加資格 大会開催年に原則23歳以下で、都道府県職業能力開発協会が行う地方予選において優秀な成績を収めた者 等
- ⑥ そ の 他 昨年度の第60回大会（千葉県）では、兵庫県から8職種21名が出場し、5職種9名が入賞

(2) 第43回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）

障害者が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的とする。

- ① 会 期 令和5年11月17日(金)～19日(日)
- ② 会 場 愛知県国際展示場
- ③ 主 催 （独）高齢・障害・求職者雇用支援機構
- ④ 種 目 25種目（兵庫県から6種目6名が参加）
- ⑤ 参加資格 大会開催年に原則15歳以上の身体障害者、知的障害者、精神障害者で、地方予選で金賞を受賞した者 等
- ⑥ そ の 他 昨年度の第42回大会（千葉県）では、兵庫県から6種目6名が出場し、2種目2名が入賞